

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	東京ガス株式会社 代表執行役社長 笹山 晋一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	事業者のHPアドレス https://www.tokyo-gas.co.jp/index.html
	<p>■電力小売事業 2016年4月より低圧のお客さまへ電気販売を行っています。 ・対象エリア:東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 茨城県 栃木県 群馬県 山梨県 静岡県 愛知県、岐阜県(一部除く)、三重県(一部除く)、長野県、北海道 ※離島除く</p> <p>■発電事業 川崎天然ガス発電(株)、(株)扇島パワー等 電源を約160万kW確保しており今後拡充していきます。 発電には最新鋭の高効率なガスタービンコンバインドサイクル方式を採用しています。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギー事業革新部	
	連絡先	電話番号	0570-002211 (東京ガスお客さまセンター)
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	エネルギー事業革新部	
	連絡先	電話番号	0570-002211 (東京ガスお客さまセンター)
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2024年11月01日 ~ 2025年07月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	https://www.tokyo-gas.co.jp/sustainability/download/index.html
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2,235.67	2,676.70

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
			99.04%
全電源のCO ₂ 排出係数	0.356	0.400	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.340	0.323	
調整後CO ₂ 排出係数	0.330	0.324	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

高効率LNG発電所からの電力調達を中心とし、かつ最大効率、メルトオーダーを考慮した発電所稼働に努め、排出係数の削減に取り組んでおります。
代替事業者からの受電により把握率は100%未満。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	90,348	1.44%	91,336	1.37%
(FIT電気)	28,856	0.46%	37,621	0.56%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

(バイオマス) 開発中である、市原八幡埠頭バイオマス発電所については、当初23年度の稼働を目指していたものの、遅延していますが、24年度上期中の運開を目指しています。また出資案件である石巻ひばりのバイオマス発電所についても、今年の1月に無事運開しました。
(その他) 本年4月にはレノバ社との資本業務提携を締結しました。本件を通じて、太陽光・風力・バイオマスなどの再生可能エネルギー電源開発・調達を推進していきます。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
88,341	1.41%	92,071	1.38%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

2023年度については、清掃工場のごみ発電により調達し、都内の利用量は92,071千kWhとなりました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・2022年度に運転開始したガスエンジン発電所である(株)東京ガスコルザパワーの運転を継続しています。ガスエンジンは優れた起動性能と負荷追従性を有し、複数台を効率よく運用することで、不安定な再生可能エネルギーを補完する電力調整を高い発電効率で行うことが可能となります。
・プラントメーカーなどと連携を取りながら定期的なメンテナンス体制を維持し、熱効率維持に努めております。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客さま向けWeb会員サービス「myTOKYOGAS」会員向けに、省エネ行動を促進するために、過去の電力使用量等の適宜照会等の情報提供を実施しています。
・業務用ビル、工場等のお客さま向けの「TGグリーンモニター」・「楽省！BEMS」、「TGみるネット」では、エネルギーの見える化、分析レポートの提供、システム制御等を行い、お客さまの省エネ・省CO2に貢献しています。
・ご家庭の暮らしの中で、省エネを推進するための方法やその効果、省エネに貢献する住宅設備などの情報を冊子やホームページを通じて提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・事務所での取り組み

当社の事業所等では、コージェネレーションシステムや省エネ設備の導入、照明や空調機器の高効率化等の設備改修といったハード面の取り組みに加え、CO2濃度に合わせた外気導入量調整、照度管理、湿度・室温の適正管理などの実効性の高い省エネ活動を行っています。

また、事業所等において再エネへの切り替えを推進しており、浜松町本社ビルにおいては非化石証書付実質再エネ電力への切り替えを実施し、またガスについてはカーボンニュートラル都市ガス(CNL)への切り替えを実施しました。また、その他事業所において順次、非化石証書付実質再エネ電力への切り替えを実施しています。

・森林保全・緑化活動

当社は、長野県北佐久郡に「長野・東京ガスの森(194ha)」を開設し、2005年より森づくりや保全活動を通じて地球温暖化防止に貢献しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	1.52%	3.01%	0.000	2.37%	5.26%
メニューB	0.000	1.52%	0.00%	0.000	2.37%	0.00%
メニューC	-	-	-	0.000	100.00%	100.00%
メニューD	0.373	1.52%	3.01%	-	-	-
メニューE	-	-	-	0.335	2.01%	4.45%
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-
メニューK	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石証書(再エネ指定)を用いた実質再エネの電気をメニューAとして供給しています。
 非化石証書(再エネ指定なし)を用いた電気をメニューBとして供給しています。
 太陽光発電由来の電気に非化石証書(再エネ指定あり)を充てメニューCとして供給しています。